

平成27年度 長岡市災害復興文庫の運営報告

中央図書館文書資料室

1 事業の目的

- (1) 平成26年度に開設した「長岡市災害復興文庫」の充実をはかる。
- (2) 長岡市資料整理ボランティア発足10周年にあわせて、活動の成果を市民に周知し、記念行事の開催等をとおして市民協働の取り組みを進める。
- (3) 東日本大震災5周年に向けて、国立国会図書館をはじめとする全国の関係機関・団体と連携し、長岡市の災害と復興の経験・教訓を全国発信する。

2 主な取り組み・成果

○国立国会図書館 東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）との連携

- ・7月に仙台市で開催された震災資料の整理方法に関する講習会の講師をつとめた。
- ・3月11日に約2,200点の市立小中学校撮影の中越大震災記録写真の画像・目録データを追加掲載する。

○長岡市資料整理ボランティア発足10周年記念行事

- ・10年間ののべ活動回数は177回、のべ参加者数は2,103人。
- ・11月に長岡市教育委員会より感謝状を授与された。
- ・発足10周年記念行事を開催した。

6月27日	上越市古文書ボランティア第1回交流会（上越市公文書センター）
9月14日	十日町市古文書整理ボランティア第9回交流会（山古志地域）
10月17日	第3回襖下張り文書剥離作業体験講習会（まちなかキャンパス長岡）
11月21日	祝10周年！長岡市資料整理ボランティア活動報告会（中央図書館）

○長岡市災害復興文庫の市民への周知

- ・「市政だより」10月号に長岡市資料整理ボランティアの特集記事が掲載された。
- ・10・11月に災害復興文庫展2015「楽しく学ぶ！長岡市資料整理ボランティア10年のあゆみ」を中央図書館エントランスで開催した。
- ・2月に新潟大学災害・復興科学研究所と連携して図録『新潟県中越地震・東日本大震災と災害史研究・史料保存—長岡市災害復興文庫を中心に—』を刊行する。



3 今後の課題

- (1) 「長岡市災害復興文庫」の充実
 - ・災害復興関連歴史公文書の保全、避難所資料のデジタル化などを進める。
- (2) 「長岡市災害復興文庫」のPR
 - ・市民から利用してもらえるよう、PRの工夫が必要である。
- (3) 県内外の文書館・図書館・博物館とのネットワークの構築
 - ・阪神・淡路大震災、東日本大震災の被災地の関係機関との交流・連携が必要である（平成28年度は、福島県立図書館、南相馬市立中央図書館と連携予定）。